

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2025.8.7(木)

事業コード	25-G-5	学校名	各務原市立尾崎小学校	住 所	各務原市尾崎南町3-2
実施日	9月30日(火)13:00~15:15		受講児童生徒数	88名(4~6年生)	
開講職種数	6職種	指導者数	8名	参観保護者数	2名

学校アンケートの結果

- 1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

- ・近い将来、我が国を支える児童に、ものづくりの楽しさやすばらしさを伝えていただけたおかげで、AIではとて代われない魅力を感じていた児童が多かった。
- ・講師の方から優しく丁寧にものづくりを教えていただけ、児童も安心して学んでいたとともに、作品が出来上がり、笑顔があふれていた。
- ・キャリア教育の観点からも貴重なご講話をいただけた。

会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

- 1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →

6

②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →

④全く伝わらなかった →

- 2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

- ・講師の方の他にボランティア指導者の方が来てください、児童に手取り足取り教えていただけてありがとうございました。「和装」が児童にとって親しみ深いものになったのではないかと思います。ありがとうございました。(和裁会場)
- ・普段の生活では知ることのできない職業の体験をできたことで、子どもたちの世界が広がり、とても良い機会になったと思う。(寝具製作会場)
- ・実際に体験してみることでモノづくりの楽しさを味わえるので、貴重な体験活動をさせていただけたと思います。(貴金属装身具製作会場)
- ・自分が得意なことで、好きなことがあるとき、その力を自信をもって発揮していくことが自分のキャリアに繋がっていく。小学校高学年において、自分の良さや得意なことを振り返ることができたことは、貴重な時間であった。(広告美術仕上げ会場)
- ・「建築板金」という職業があることを知ることができたこと、その中身を実際に目の前で見ることができたことで、その職業の良さを身近に感じる時間であった。また、マイスターの人柄を通じて人間力の高さを感じることができたことは、働く上で一番大切なことを学ぶことができたと考える。(建築板金会場)
- ・いろいろな職業について、経験や技能が豊富な専門家から直接お話を聞いたり、体験できることは児童にとって貴重な体験だと感じた。様々な業種の体験ができるように今後もこのような機会が広がっていくと良いと思う。
- ・業務改善のために、報告書等の内容が簡略化されていくと更にありがたいと感じた(インターネットでアンケート方式で報告するなど)。(フラワー装飾会場)

△報告書簡略化の要望に対する協会回答 → 当事業では、公金が原資である以上、依頼者による必要最低限の報告書作成は不可欠と考えます。また、一人でも多くの児童生徒が体験授業に参加できるよう、予算の大半を「実施すること」に振り分けているため、ご要望のようなシステム構築を外部委託する予算は残っていません。学校によっては先生方の収集して、児童生徒アンケートの集約システムを構築して、児童生徒のタブレットを通して直接回答させている学校もあります。どうか、ご理解とご協力をお願いいたします。

指導者アンケートの結果（6職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

4

2

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

- ・小物作りと着付けと2種類あるので時間がいっぱいあります。仕事の内容など、講話が詳しく話せないのが残念です。ただ子供達は、実技の方が楽しく出来上がったときの喜びを感じているように見えました。(和裁職種)
- ・我々、寝具業界は職人の高齢化と後継者不足が深刻な状況であり、またインターネットなど大手メーカーによる量販や価格に転嫁した通販などの影響もあって「廃業」を余儀なくされる小売店も少なくありません。その一方で、職人が手掛けた『本物の布団』を求める顧客は全国にいます。唯一無二、一人一人の要望に沿った付加価値の高い布団を立てることのできる職人の存在を世の中にもっと発信していく必要があります。
- この体験授業を通して『ものづくり』という職業の“魅力”と“可能性”を多くの子どもたちに伝えられることは非常に尊く、私自身とても嬉しく思います。
- 私は、ある人との出会いが“キッカケ”でこの世界に入りました。しかも、その出会いは突然に訪れました。どうか、これからもこの様なキャリア教育を実施することで子どもたちが“夢を抱く”ことのできるキッカケづくりを岐阜県主導で積極的に推進していただきたいです。(寝具製作職種)
- ・本物の技能者の技や話にふれる事のできる「未来の技能者育成事業」はすばらしいです。予算の関係もあるのでしょうか、できるだけ多くの子ども達にチャンスを与えて欲しいです。(貴金属装身具製作職種)
- ・時代が変わり、広告美術業界も分業化が進み、それぞれの個性や能力に合った分野で生き生きと活躍できるようになったことは評価できます。しかし、大学を卒業してから職人としての進路決定をするとなると、少々年齢的には遅いと感じます。小・中学生の段階から将来の職業選択の方向性だけは、このような体験授業を通して決めることができれば良いと思っています。(広告美術仕上げ職種)
- ・指導者の地域で体験授業があると、地元への発信となり、未来の技能者を育成する流れになりやすいと思いますが、業界としてなかなか上手く発信することができていない、発信する機会が少ないことが課題であると感じています。
- ・担当の先生にも体験していただいた方が良さそうです。
- ・生徒の名前をテープでもいいので胸などに貼っていただき、○○さんと呼べると少ない時間でも打ち解けるのではないかと思います(建築板金職種)
- ・学校でこのような体験授業を行えることは、とても素晴らしいと思います。子ども達に仕事の内容ややりがい、苦労や楽しさを実際の経験を通して伝える機会はほとんどないので、貴重な機会であり、子ども達にも心に残る経験になり、職業選択のきっかけになると思います。この事業の継続と拡充を願います。(フラワー装飾職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	和裁	寝具製作	貴金属装身具製作	広告美術仕上げ	
指導者数	2	1	1	1	
受講児童生徒数	13	15	16	14	
回答	とても満足した	10	13	12	10
	ある程度満足した	2	2	3	4
	あまり満足できなかった	1	0	1	0
	満足できなかった	0	0	0	0
	合 計	13	15	16	14

	建築板金	フラワー装飾		合計(左:人 右:%)
指導者数	2	1		8
受講児童生徒数	14	16		88
回答	とても満足した	10	14	69 78.4
	ある程度満足した	4	1	16 18.2
	あまり満足できなかった	0	0	2 2.3
	満足できなかった	0	1	1 1.1
	合 計	14	16	88 100

和裁会場の様子



先生の感想

- ・自分の手で縫うことによって、あたたかみのあるお弁当包み袋を作成することで、今後も使うことができ、和裁のよさを味わうことができた。
- ・日本で生まれ育つ中で、着物について学ぶ機会はなかなかなく、その文化的背景を学ぶことによって、着物の良さを認識することができた。
- ・実際に着付けをし、その姿を見ることで、「浴衣は、素敵なものだ」ということを感じることができた。
- ・終始、全員が笑顔で楽しそうに活動している姿が印象的だった。
- ・参観した保護者が「素敵なデザインのお弁当包み袋を完成させ、作ったものを今後使うことで、いつまでも嬉しさを味わうことができる」と話されていた。
- ・自分で作ったものを今後大切にするというSDGsの観点からも有意義な体験活動であった。

児童生徒の感想

- ・ゆかたの帯は最初から作ってあるものが多いけど、帯の作り方も教えてもらえたから嬉しかった。
- ・帯の作り方が分かって面白かった。これからは出来れば一人でやってみようと思う。
- ・弁当の袋を作るのは最初は大変だろうなと思ったが、意外に簡単に作れて、こんなに早くできるんだと思った。
- ・AIの発達で職業がなくなってしまったり、その学校がなくなってしまうのは悲しいことだなと思った。
- ・お弁当包み袋作りは、針の穴の中心に糸を通すのがすごく難しかったけれど、いろいろ学ぶことができた。
- ・浴衣について色々と教えていただいたとき、時代によって着物がだんだんと変化してきたことを知ってびっくりした。

寝具製作会場の様子



先生の感想

- ・人生の三分の一は睡眠時間であり、睡眠の重要性＝寝具の重要性というお話がとても印象に残った。
- ・寝具のことについて児童が考えを改める機会となった。
- ・綿の扱いが難しかったが、分かりやすい説明や実演とサポートをしていただいたおかげで、どの子も座布団を完成させることができ、達成感を味わうことができた。
- ・講師の方が製作したものと自分たちが製作したものを比べ、その技術の高さに憧れをいだいていた。
- ・まとめでは、講師の方が職業を選択した理由や思いから「夢の実現のためには、覚悟をもって勇気のある決断をする必要があること」「お客様と関わり続けることができる幸せ」を熱く語られた。その姿から思いをもって物事に取り組むことの大切さや働くことで生まれる喜びについて学ぶことができた。

児童生徒の感想

- ・1回1回、目の前で分かりやすくお手本で見せててくれて、とても分かりやすく布団の作り方を知ることができた。
- ・説明が分かりやすく、将来についての話も詳しく聞くことができた。
- ・座布団作りの中で綿を詰めるところがすごく難しかった。職人の方はこの作業を毎日やっていると思うとすごいなと感じた。
- ・先生の講話を聞いて、これからはあと1歩自分から進めるようになりたいと思った。
- ・座布団の角を作るところを工夫することができた。もっとたくさん布団を作つてみたいと思った。

貴金属装身具製作会場の様子



先生の感想

・上下先生が簡単に手本を見せてくださったが、実際にやってみるととても難しいことも分かったが、上下先生による研磨で、指輪が一段と輝きが増したことで、児童から歓声が上がり、モノづくりの楽しさを実感できたようだった。

・最初にこれまでの作品を見せてもらったが、初めて見るものばかりだったので、子供たちは興味津々で聞いていた。製作途中の作品の実演も見せてもらい、どのように作られたのかを知るだけでなく、「簡単には作ることができない、でも、楽しそう」という、やりがいも伝わってきた。上下先生の、「お客様に喜んでもらえたときに、やってよかったと感じる」という話も印象に残ったようで、体験を終えた子供たちの中には、「この仕事楽しい！この仕事に就きたい！」という声も上がっていた。

・授業の前、子供たちの中には、「将来の夢やなりたい職業はない」と言っていた子が何人かいました。最初の導入で、仕事の内容を紹介してくださった後、上下先生が、この仕事に就くことになったきっかけを話し始めてくださいました。その際、「初めは何の職業に就きたいか決まっていなかった」と話をされたので、子どもたちは、引き付けられるように集中して話を聞いていた。

・製作時間が余ると思われたが、製作した後に見せてもらった動画が、実は今日自分たちに配られた材料（純銀の棒）を製作する過程であったことを知り、「こんなに手間をかけてもらっていた」と、感動の声が上りますます大切にしたいと感じることができた。製作後に見せてもらう流れがサプライズ的でよかったです。

児童生徒の感想

・貴金属装身具製作の仕事は色々なものを作るということを初めて知った。アイデアも自分で考えて作るということも初めて知った。

・指輪をくるくる回して作るのがとても難しくて時間がかかった。指輪の先端を曲げるときに硬かったけど、木づちで叩いて曲げると簡単に曲げられることができた。

・今日の材料の純銀の棒を作製するまでの動画を見て、とても大変な苦労をして準備をしてきたことが分かった。

・よく分からないところを職人の方に優しく教えてもらえたので嬉しかった。

広告美術仕上げ会場の様子



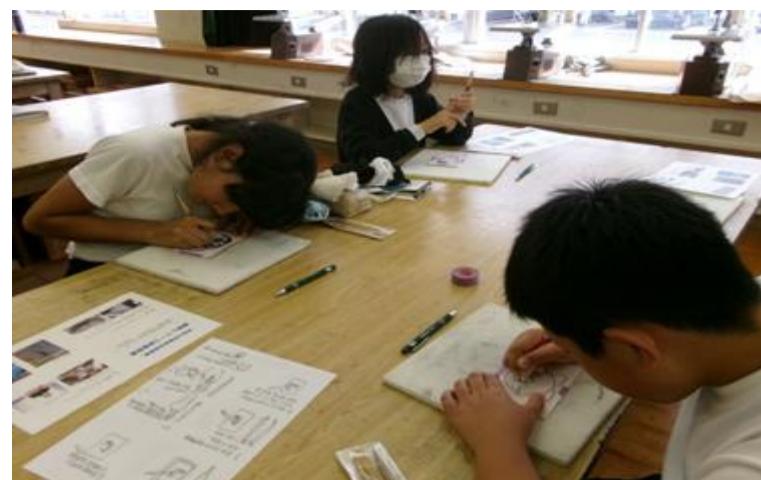
先生の感想

- ・レタリングは、思った以上に難しかったが、分かりやすいアドアイスと実演で、どの子も上達した。
- ・自分だけの表札ができたことに達成感や満足感を味わうことができた。
- ・失敗した児童に、優しく声をかけてもらいました。
- ・卓越した技術は、人を引き付けることが実感できた。
- ・「続けることで上達する」という言葉が印象的でした。
- ・人ができないことを伸ばすとよいことが、分かった。
- ・好きなことを求めれば、食べていける。→ 好きなことを職業にするとよい。
「あの人いいよ」という口コミで仕事がつながっていく

児童生徒の感想

- ・昔は看板を手書きで作っていたことを知り、普段よく目にする看板がもし手書きだったらと思うと、また違った風に見えた。
- ・実際にやってみると難しかったのに、先生はすごく上手く字を書いていて、職人さんはすごいなと思った。
- ・表札づくりは少し失敗してしまったけど、最初に先生が実際に手掛けられた看板を写真で見せてくださったのが印象に残った。
- ・誰でも上手に文字を書けるようになると知って、自分も将来は良い仕事に就きたいと思った。
- ・最初は文字を上手く書く自信がなかったけど、My表札を作つてみて自信がついた。
- ・柴山さんはパソコンで書くような字を手書きで書いていて、すごい技術だなと思った。

建築板金会場の様子



先生の感想

- ・銅板で鶴を折る際に、板金の仕事で使う道具は何種類もあり、それを使い分けて細かい作業をする工程を間近で見ることができ、子どもたちは驚いていた。
- ・銅板を裏からへらやスプーンなどでこすったり、表から線をなぞったりすることで、平らな銅板が膨らんで立体的になっていたので、子どもたちは作品の完成を楽しみにしながら、黙々と作ることができた。
- ・子どもたちは、建物が作られてから取り壊されるまで、ずっと板金屋さんの作品として残るということを知ることができた。
- ・マイスターがとても明るく温かい人柄で、楽しく話しかけてくださったり、たくさん子どもたちをほめてくださいました。おかげで、子どもたちは安心して、作品作りに集中することができた。

児童生徒の感想

- ・銅板を使って鶴を作る実演を見たことが印象に残った。
- ・もう少し作品の立体感の出し方を教えてもらいたかった。
- ・自分の好きなキャラクターを選んで銅板レリーフを作ることができたのでとても嬉しかった。
- ・金属を金づちを使ってカンカン打って形を整えていくところが面白いと思った。
- ・銅板レリーフ作りでは、下絵じゃないところを打ってしまって少し失敗したけど、作ること自体は熱中できて楽しかった。
- ・建築板金は家の屋根や壁に銅板などを取り付ける仕事だということを初めて知ることができた。

フラワー装飾会場の様子



先生の感想

- ・どんなことが仕事のやりがいに繋がっているかを、いろいろな例を挙げながら 熱く語ってくださったことが心に残った。
- ・デモンストレーションで、実際に花束を作ったり、ラッピングする様子を間近で見ることができ「すごい」と感嘆の声があがっていた。
- ・誰が作っても上手に作ることができるよう、細かい準備をして頂いていたおかげで、どの児童も素敵な作品ができ、大変満足していた。
- ・最後にコウモリなどのオーナメントで自分らしさを加えられるように工夫されていたため、「自分だけの作品ができた」と感じることができていた。「どうしたら喜んでもらえるか」と考えられた心遣いに溢れており、児童はその気持ちを強く感じ取っていた。
- ・児童が分かりやすいように細かい準備がされており、少しでも喜ぶようにとたくさん工夫が込められていた。そのおかげでどの児童も大満足の作品を作ることができていた。教員としても、相手のことを考えて一工夫していくことの大切さを改めて感じた。「花が大好き」「人に喜んでもらうのがやりがい」というお話をたくさんして頂き、好きなことを仕事にし、やりがいを感じながら仕事をしていくことが大切であるという思いが児童に強く伝わったと感じた。

児童生徒の感想

- ・先生が私たちと一緒に楽しく授業をしていただけたことが心に残っています。
- ・フラワーアレンジメントで、パンプキンをより可愛くできるようにすることを工夫した。
- ・自分たちで自分だけのオリジナルフラワーアレンジメントを作れて良かった。
- ・フラワー装飾の仕事は大変だなと思ったけど、話が分かりやすくて職業のことがよく分かった。
- ・正面から見たときにアレンジメント全体が綺麗に見えるように作ることを心がけた。
- ・プレゼンを見て、季節ごとに花束を作っていて、季節に合わせた花束があることを知った。
- ・花の位置を調整することで、よりきれいな花束やアレンジメントになることがよく分かった。